

STIHL KM 94 R

**STIHL**



2 - 19 取扱説明書



# 目次

1	コンピツール.....	2
2	はじめに.....	2
3	使用上の注意および作業方法.....	3
4	承認されたコンピツール.....	6
5	ループ ハンドルの取り付け.....	7
6	燃料.....	7
7	給油.....	8
8	エンジンの始動と停止.....	9
9	作業中の注意事項.....	11
10	エアフィルターとの交換.....	12
11	キャブレターの調整.....	12
12	スパーク プラグ.....	12
13	機械の保管.....	13
14	ユーザーによる点検と保守.....	14
15	スチール販売店による点検と保守.....	14
16	整備表.....	14
17	磨耗の低減と損傷の回避.....	15
18	主要構成部品.....	16
19	技術仕様.....	16
20	整備と修理.....	17
21	廃棄.....	18
22	EC 適合証明書.....	18
23	UKCA 適合宣言.....	18

## お客様各位

この度は STIHL 社の製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。

この製品は、最新の製造技術と入念な品質保証処置を施して製造されました。私共は、お客様がこの製品を支障なく使用され、その性能に満足していただくために最善の努力を尽くす所存であります。

本製品に関してご不明な点がありましたら、お買上げの販売店または当社カスタマーサービスにお問い合わせください。

敬具

Dr. Nikolas Stihl

# 1 コンピツール

STIHL コンピシステムでは、パワーツールとしてさまざまなコンピエンジンやコンピツールを組み合わせることができます。本取扱説明書では、コンピエンジンとコンピツールで構成される本体一式をパワーツールと呼びます。

そのため、パワーツールにはコンピエンジン用とコンピツール用の各取扱説明書が必要です。

必ず両方の取扱説明書を読み、内容を理解してからパワーツールの使用を開始し、取扱説明書は以後の参照用に安全な場所に保管してください。

# 2 はじめに

## 2.1 シンボルマークについて

機械に表示されているシンボルマークの意味は、本取扱説明書に説明されています。

対象の機種によっては、以下のシンボルマークが機械に表示されている場合があります。



燃料タンク、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料



デコンパバルブの操作



手動燃料ポンプ



手動燃料ポンプの操作



グリースチューブ



インテークエア： 夏季作業



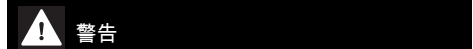
インテークエア： 冬季作業



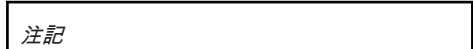
ハンドルヒーター



## 2.2 段落の前に付いたシンボルや数字



人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。



本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

## 2.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

無毒素薄白紙使用  
印刷インクには植物油が使用され、紙はリサイクル可能です。

© ANDREAS STIHL AG & Co. KG 2021  
0458-467-4321-C\_V1.0\_J21.

このため、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

## 3 使用上の注意および作業方法



パワーツールを使用するときは、特別な安全上の注意事項を遵守する必要があります。



初めてパワーツールを使用する前に、必ず両方（コンビエンジンとコンビツールの）取扱説明書をお読みになり、内容をよく理解してください。取扱説明書は、後日、参照できるように安全な場所に保管してください。安全上の注意事項を遵守しないと、重傷または致命傷さえも負うことがあります。

現地の安全規制、基準、条例をすべて遵守してください。

本機を初めて操作するときは：販売店または経験豊富なユーザーに機械の操作方法を教えてください、使用方法に関する専門研修に参加してください。

未成年者はパワーツールを使用しないでください。

作業エリアに見物人、特に子供や動物を近付けないでください。

パワーツールを使用しないときは、他人に危険が及ばないようにスイッチを切ってください。無断で使用されないよう、安全な場所に保管してください。

第三者の負傷やその所有物の損壊を防止することは、使用者の責任です。

パワーツールは、このモデルとその操作を熟知している人にだけ貸し出してください - 必ずコンビエンジンとコンビツールの取扱説明書を一緒に手渡ししてください。

騒音を発する機械の使用が、国や地域の規則によって特定の時間帯に制限されている場合があります。

パワーツールを操作する人は、十分に休息をとり、身体的、精神的に健康でなければなりません。

激しい労働に耐えられない体調の方は、かかりつけ医に相談してからパワーツールを使用してください。

ペースメーカーを装着している方のみ該当する注意点：本パワーツールのイグニッションシステムは、微弱な電磁界を発生します。その電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。

STIHL 社では、ペースメーカー使用者には健康上のリスクを低減するために、かかりつけ医やペースメーカーの製造業者に相談されることをお勧めしています。

視力を低下させたり、動作や判断を鈍らせたりするおそれがある物（薬物、アルコール）を服用した状態では、パワーツールを使用しないでください。

パワーツールは、使用するコンビツールの取扱説明書に記載されている用途にのみ使用してください。

**事故が生じる危険が増すため、パワーツールは他の目的に使用しないでください。**

本機の損傷を避けるため、コンビエンジンはコンビツールを正しく確実に取り付けて操作してください。

STIHL 社がパワーツールへの使用を明確に承認したか、同等の仕様に基づいたコンビツールとアクセサリだけを使用してください。「承認されたコンビツール」の項をよくお読みください。ご不明な点は、サービス店にお問い合わせください。事故が起きたり、本機が損傷したりする危険を回避するために、高品質のツールとアクセサリ一のみを使用してください。

STIHL 社では、STIHL 純正ツールとアクセサリの使用をお勧めしています。そうした純正品は製品に適合し、お客様の性能要件を満たすように特別に設計されています。

いかなる方法であれ、絶対に本パワーツールを改造しないでください。負傷する危険性が高まるおそれがあります。STIHL 社は、承認されていないアタッチメントを使用した際のケガや物的損害に対して一切法的責任を負いません。

本パワーツールの清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流がパワーツールの部品を損傷させるおそれがあります。

### 3.1 衣服と装備

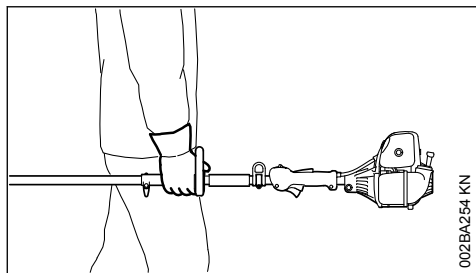
適切な防護服と装備を身に付けてください。



枝、やぶ、機械の可動部に引っ掛かる衣服は避けてください。スカーフ、ネクタイ、装身具を身に付けしないでください。長髪は、肩の高さよりも上で結んでください。

使用するコンビツールの取扱説明書の「衣服と装備」に記載されている注意事項も参照してください。

## 3.2 パワーツールの運搬



必ずエンジンを切ります。

車両輸送：パワーツールが倒れたり、燃料が漏れ出したり、機械が損傷したりしないように適切に固定してください。

使用するコンビツールの取扱説明書の「機械の運搬」に記載されている注意事項も参照してください。

## 3.3 給油



ガソリンは可燃性が極めて高い燃料です。火気を避けてください。燃料をこぼさないでください - 喫煙しないでください。

エンジンを停止させてから給油してください。

エンジンが高温のときは給油しないでください - 燃料がこぼれ、**火災が起きる危険があります。**

タンク内で高まった圧力を徐々に逃がし、燃料漏れを防ぐために、燃料タンクキャップは慎重に開けてください。

給油は換気の良い場所で行ってください。燃料が本機にこぼれたときは、直ちに拭き取ってください - 衣服に付着したときは、直ちに着替えてください。



給油後は、燃料タンクのキャップをできるだけきつく閉めてください。

それにより、機械の振動によって燃料タンクキャップが緩むか外れ、燃料が漏れ出す危険を低減できます。

**重度または命にかかわる火傷を負う危険を低減するために、燃料が漏れていないか点検してください。燃料漏れに気付いたときは、エンジンを始動しないでください。**

## 3.4 始動前

パワーツールが適切に組み立てられ、正常な状態になっているか点検します - 本取扱説明書の関連項目を参照してください。

- 燃料システムに漏れがないか点検します。特にタンクキャップ、ホース接続部、手動燃料ポンプ（装着モデルのみ）等の目視が可能な部品に注意してください。漏れや損傷がある場合は、エンジンを始動しないでください - **火災が起きるおそれがあります。** サービス店で機械を修理してもらってから再使用してください。
- 組み合わせが承認されているカッティングアタッチメント、デフレクター、ハンドルおよびハーネスのみを使用してください。すべての部品は、適正かつ確実に組み立てられている必要があります。
- 停止スイッチは制約なしに動かなければなりません。
- チョークノブ、スロットルトリガーロックアウト、およびスロットルトリガーがスムーズに作動するか点検してください - スロットルトリガーは自動的にアイドル位置に戻らなければなりません。スロットルトリガーロックアウトとスロットルトリガーを握ると、チョークノブが **I** の位置から運転位置 **I** に戻らなければなりません。
- スパークプラグターミナルがしっかりと差し込まれているか点検します - 緩んでいると火花が発生することがあり、可燃性のガスに引火するおそれがあります。
- 絶対に操作部や安全装置を改造しないでください。
- パワーツールを安全に操作するために、ハンドルは乾いた清潔な - オイルや汚れのない - 状態に保ちます。
- ハーネスとハンドルを、自分の背丈や手の長さに合わせて調整します。

**事故が生じる危険を低減するために、安全に操作できる状態のときだけパワーツールを使用してください。**

肩掛けベルトまたはフルハーネスを使用する場合：非常時に備えて、機械を外して地面に降ろす練習をしてください。練習中は、本機を地面に投げ降ろして損傷させないように注意してください。

お使いになっているコンビツールの取扱説明書の「始動前」に記載されている注意事項も参照してください。

## 3.5 エンジンの始動

給油場所から 3 m 以上離れた場所でエンジンを始動します。屋外に限ります。

機械を障害物のない安定した地面に置きます。バランスが取れ、足場が安定しているか確認します。機械をしっかり保持します。エンジンが始動するとアタッチメントが作動することがあるため、アタッチメントは地面や他のいかなる障害物にも接触させないでください。

**ケガの危険を低減するため、アタッチメントに触れないでください。**

エンジンの落としがけをしないでください - 取扱説明書に従って始動してください。スロットルトリガーを放しても、(フライホイール効果により) アタッチメントは短時間作動し続けます。

アイドリング回転数の設定を確認します: アタッチメントは、エンジンがアイドリング中でスロットルトリガーを放している時は作動しません。

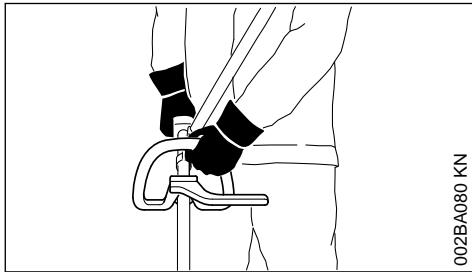
**火災が生じる危険を低減するために、燃えやすい物(木屑、樹皮、枯れ草、燃料等)は高温の排気ガスや高温のマフラー表面に近付けないでください。**

使用するコンビツールの取扱説明書の「エンジンの始動/停止」に記載されている注意事項も参照してください。

### 3.6 パワーツールの保持と操作

必ず両手でパワーツールのハンドルをしっかりと保持します。

バランスを保ち、安定した足場を確保してください。



ループハンドルを左手で、コントロールハンドルを右手で握ります。左利きでも同様です。

HT-KM コンビツールでは、左ハンドルとしてハンドルホースを使用します。

### 3.7 作業中

差し迫った危険や緊急の場合、速やかにエンジンを停止します - 停止スイッチを 0 の方向に動かします。

スロットルトリガーを放したときにアタッチメントが確実に停止するためには、エンジンのアイドリング回転数を適切に調整することが重要です。

定期的にアイドリング回転数の設定を点検し、修正してください。エンジンのアイドリング回転時にアタッチメントが作動し続ける場合、サービス店に機械の点検を依頼し、適切な調整または修

理を受けてください。STIHL 社では、STIHL サービス店の利用をお勧めしています。

イヤープロテクター着用時は、危険を告げる声(叫び声、警笛等)が聞こえにくくなるため、通常よりもさらに注意が必要です。

**事故が生じる危険を低減するために、適切な時期に休憩をとり、疲労の蓄積を防いでください。**

日中の視界が十分なときのみ、冷静かつ慎重に作業を行ってください。他者に危険が及ばないよう注意を怠らないでください。

パワーツールは、コンビツールの取扱説明書に記載されている用途以外には使用しないでください。



エンジンが始動するとすぐに、パワーツールから有毒な排気ガスが発生します。排気ガスは無色無臭で、未燃焼の炭化水素とベンゼンを含んでいることがあります。密閉された場所または換気状態が悪い場所では、絶対にパワーツールを使用しないでください。

**有毒ガスの吸引によって重傷または致命傷を負う危険を低減するために、溝、くぼ地、または狭い場所では、換気を適切に行ってください。**

**事故が生じる危険を低減するために、気分が悪い、頭痛、視覚障害(視野狭窄等)、聴覚障害、めまい、注意散漫等の状態に陥った場合は、直ちに作業を中止してください。他の可能性は別として、これらの症状は、作業エリアに超高濃度の排気ガスが存在する場所に起こることがあります。**

機械は、音と排気ガスの発生が最小限になるように操作してください - 不必要にエンジンをふかさず、作業時のみエンジンを加速してください。

**火災の危険を低減するために、作業中や機械の近くでは喫煙は避けてください。** 燃料システムから可燃性の気化燃料が漏れ出すおそれがある点に注意してください。

作業中に発生する塵埃、蒸気、煙は健康を害するおそれがあります。大量の粉塵や煙が発生する場所では、防塵マスクを着用してください。

パワーツールに設計強度を超える高い負荷がかかった(例えば強い衝撃を加えたか、落下させた)場合は、必ずパワーツールが正常かどうか確認してから作業を続けてください - 「作業を開始する前に」も参照。

特に燃料システムが漏れていないか点検し、安全装置が正常に作動しているか確認してください。お使いのパワーツールに損傷がある場合は、作業を続けしないでください。不確かな場合は、サービス店にお問い合わせください。

パワーツールから離れる場合：エンジンを切りま  
す。

**ケガの危険を低減するため、必ずエンジンを停止  
してからコンビツールまたはアタッチメントを  
変更してください。**

### 3.8 振動

チェンソーを長時間使用した場合には、振動の影  
響により手の血行不良が生じることがあります  
（「白ろう病」）。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般  
的な使用時間の設定は不可能です。常に各国の  
安全規制、基準、条例をお守りください。

以下の対策をとると使用時間を延長できます：

- 手の防護(暖かい手袋)
- 休憩を取りながら作業する

以下の場合には使用時間を短くします：

- 血行不良の特殊体質（症状：指が頻繁に冷たく  
なる、指が疼く）。
- 低い外気温。
- ハンドルを握む力の強さ（握む力が強いと血行  
が低下します）。

機械を日常的に長時間使用したり、該当する症状  
（指のしびれ等）が繰り返し発症する時は、医師に  
よる診断をお薦めします。上記のいずれかの症  
状が現れたら（指が疼くなど）、医師にご相談くだ  
さい。

### 3.9 整備と修理

定期的には本機を整備してください。取扱説明書  
に書かれている整備や修理だけを行ってくださ  
い。その他すべての作業は STIHL サービス店に  
依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けた STIHL サ  
ービス店にのみ依頼されることをお勧めします。  
STIHL サービス店には定期的にトレーニングを  
受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を  
受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本  
機の損傷を回避してください。これに関して不  
明な点がある場合は、STIHL サービス店へお問い  
合わせください。

当社では STIHL 純正の交換部品のご使用をお勧  
めします。これらは、お客様の機種およびご使用  
になる性能要件に合わせて、特別に設計されてい  
ます。

不意にエンジンが始動してケガをする危険性を  
軽減するために、修理、保守、および清掃作業前

1) 機械に同梱されている**バリアー**を使用してください - 「**ループハンドルの取り付け**」も参照

2) FCS-KM を KM 94 R と共に使用する場合は、固定シャフトの代わりにフレキシブルシャフトを取り  
付けてください。

**に常にエンジンを停止して、スパーク プラグ タ  
ーミナルを取り外してください。** - 例外:キャブ  
レターおよびアイドル回転数の調整時は例  
外です。

スパーク プラグ ターミナルまたはスパーク プ  
ラグを外した状態で、スターターでエンジンを始  
動しないでください。火花を抑制できずに**火災  
が発生する危険性**があります。

**火災の危険性**を回避するため、火気の近くで修理  
したり、保管したりしないでください。

燃料フィルター キャップにもれがない定期的に  
点検してください。

当社で承認されたタイプのスパークプラグだけ  
を使用して、支障なく動作することを確認してく  
ださい（「技術仕様」の項を参照）。

イグニッション ケーブルに異常がないこと(良好  
な絶縁状態、接続の確実性)を確認してください。  
マフラーに異常が無いことを確認してください。

**火災の危険や聴覚障害**を避けるために、破損した  
マフラーを取付けたまま、あるいはマフラーがな  
いまま作業しないでください。 -

高温のマフラーに触れて、**火傷**しないようにして  
ください。

振動の強さは、防振部品の状態に左右されますの  
で、定期的には防振部品を点検してください。

## 4 承認されたコンビツール

コンビエンジンには次の STIHL コンビツール  
を取り付けることができます：

### コンビツール

FS-KM  
FS-KM <sup>1)</sup>  
FSB-KM  
RG-KM <sup>1)</sup>  
HL-KM 145°  
  
HL-KM 0°

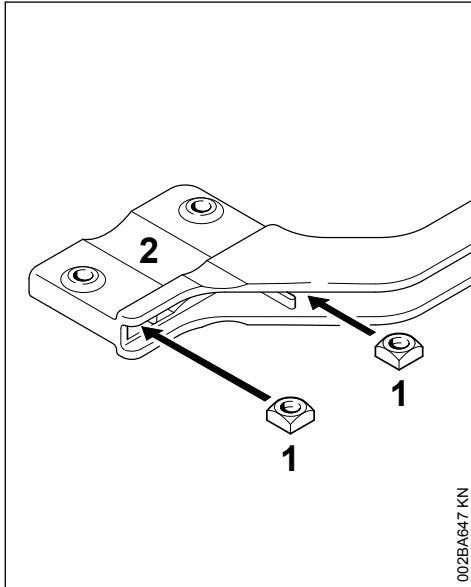
FH-KM 145°  
BG-KM  
HT-KM  
BF-KM  
FCB-KM  
FCS-KM <sup>2)</sup>  
SP-KM  
KB-KM  
KW-KM

### 用途

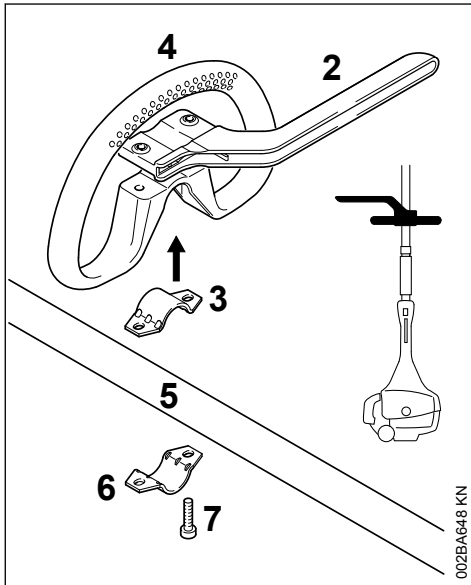
草刈ヘッド付き刈払機  
草刈ブレード付き刈払機  
草刈ヘッド付き刈払機  
除草機  
ロングリーチヘッジトリ  
マー、調整可成型  
ロングリーチヘッジトリ  
マー  
グランドヘッジャー  
ブローワー  
高枝カッター  
カルチベータ  
エッジャー  
エッジャー  
スペシャルハーベスター  
パワーブラシ  
パワースイープ

## 5 ループ ハンドルの取り付け

バリアーバーは本機に付属しています。バリアーバーをループハンドルに取り付けます。

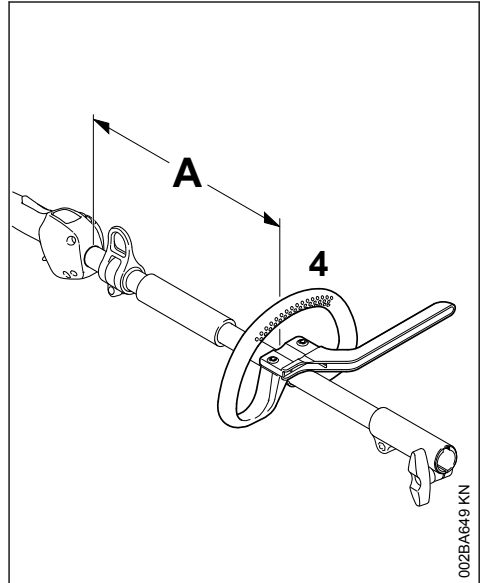


- ▶ 四角ナット (1) をバリアーバー (2) に、穴が並ぶように取り付けます。



- ▶ クランプ (3) をループハンドル (4) に取り付け、一緒にドライブチューブ (5) に当てます。
- ▶ クランプ (6) をドライブチューブに当てます。
- ▶ バリアーバー (2) を、図のように所定の位置に配置します。
- ▶ 穴を合わせます。
- ▶ スクリュー (7) を穴に差し込みます - バリアーバー (2) に、突き当たるまでねじ込みます。
- ▶ 「ループハンドルの調整および固定」を参照してください。

### 5.1 ループハンドルの調整および固定



作業者の身長と手の長さ、および用途に応じて距離 (A) を変更して、ループハンドルを調整できます。

推奨：距離 (A)：約 22 cm (8.7 in)

- ▶ ハンドルを必要な位置にずらしません。
- ▶ ループハンドル (4) の位置を合わせます。
- ▶ ハンドルがドライブチューブ上で回転しなくなるまでスクリューを締め付けます。バリアーバーが取り付けられていない場合 - 必要な場合はナットをロックします。

バリアーバーはループハンドルに付けたままにします。

## 6 燃料

エンジンには、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料が必要です。



警告

燃料に直接触れたり、ガソリンの気化ガスを吸い込んだりしないよう注意してください。

## 6.1 STIHL MotoMix (モトミックス)

STIHL 社では、STIHL MotoMix の使用をお勧めしています。このあらかじめ混合された燃料はベンゼンや鉛を含まず、高オクタン価を特徴とし、常に適切な混合比をもたらします。

STIHL MotoMix には、エンジン寿命を最大化するために STIHL HP Ultra 2 ストロークエンジンオイルが使用されています。

MotoMix は、販売されていない市場もあります。

## 6.2 燃料の混合

注記

仕様と異なる不適切な燃料や混合比を用いると、エンジンに重度の損傷が生じるおそれがあります。低品質のガソリンやエンジンオイルは、エンジン、ガスケット、燃料ライン、燃料タンクを損傷させることがあります。

### 6.2.1 ガソリン

オクタン価が 90 以上の**高品質ガソリン**だけを使用してください。無鉛、有鉛は問いません。

アルコール濃度が 10% を超えるガソリンは、手動調整可能キャブレター付きエンジンではエンジン性能を低下させるおそれがあるため、そうしたエンジンには使用しないでください。

M-Tronic 搭載エンジンは、アルコール濃度が 27% までのガソリン(E27)を使用して本来の性能を発揮します。

### 6.2.2 エンジンオイル

ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP Ultra(ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルまたは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

### 6.2.3 混合比率

1:50 の比率で STIHL 2 ストロークエンジン オイルとガソリンを混合してください(オイル 1 に対してガソリン 50)。

## 6.2.4 例

ガソリン量 リットル	STIHL 2 ストロークエンジンオイル 1:50 リットル (ml)
1	0.02 (20)
5	0.10 (100)
10	0.20 (200)
15	0.30 (300)
20	0.40 (400)
25	0.50 (500)

▶ 承認されている安全な燃料容器にオイルを注入してからガソリンを加え、完全に混ぜ合わせます。

## 6.3 混合燃料の保管

燃料は承認されている安全な燃料容器に入れ、乾燥して涼しく、安全な、照明や太陽光から保護された場所に保管します。

**混合燃料は時の経過に伴って劣化します** - 数週間分の必要量だけを混合してください。混合燃料は 30 日以上保管しないでください。照明、太陽光、低温、高温にさらすと、混合燃料はより短時間で使用できなくなることがあります。

STIHL MotoMix は、問題なく最長 5 年間保管することができます。

▶ 混合燃料が入った容器(携行缶)をよく振ってから給油してください。



警告

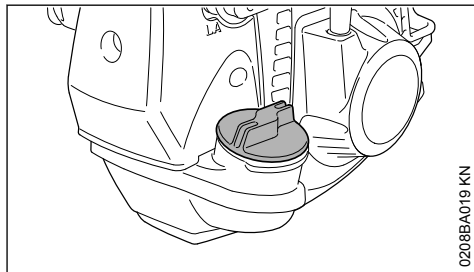
携行缶の内圧が高まっている可能性があるため、キャップは慎重に開けてください。

▶ 混合燃料を保管する燃料タンクや容器は、ときどき徹底的に清掃してください。

残存する燃料や清掃に使用した液体は、規制に従って環境に害を及ぼさないように廃棄してください!

## 7 給油

### 7.1 燃料タンク キャップ



0208BA019 KN



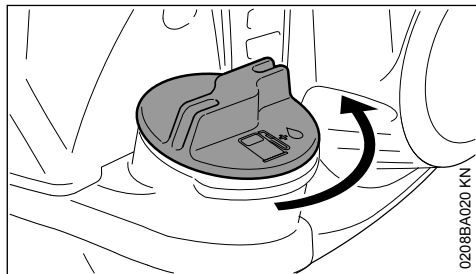


警告

斜面で燃料を補充する際は、必ずフィルターキャップが上り坂側に向くように機械を配置します。

- ▶ フィルターキャップが上を向くように、機械を平坦な地面に置きます。
- ▶ 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐため、フィルターキャップとその周りをきれいにしてください。

## 7.2 タンク キャップを開ける。



0208BA020 KN

- ▶ キャップを反時計回りに、キャップをタンクの開口部から外すことができるまで回します。
- ▶ キャップを外します。

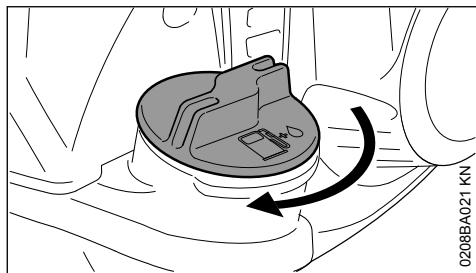
## 7.3 燃料の補充

給油の際には燃料をこぼしたり、あふれさせないでください。

当社では、給油用に STIHL フィルター ノズル (特殊アクセサリ) の使用をお勧めします。

- ▶ 燃料を補充します。

## 7.4 タンク キャップを閉める。

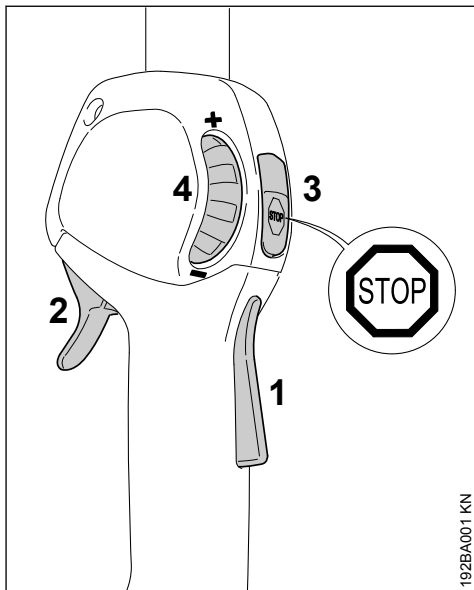


0208BA021 KN

- ▶ 開口部にキャップを置きます。
- ▶ キャップを時計回りに、止まるまで回します。手でできる限りしっかりと締め付けます。

## 8 エンジンの始動と停止

### 8.1 操作部



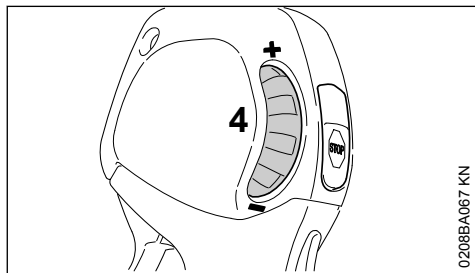
192BA001 KN

- 1 スロットルトリガーロックアウト
- 2 スロットルトリガー
- 3 運転および停止位置の停止スイッチ。停止スイッチ (⊖) を押してイグニッションをオフにします - 「停止スイッチとイグニッションシステムの機能」を参照。
- 4 サムホイール - スロットルトリガーの可動範囲を制限します - 「サムホイールの機能」を参照。

#### 8.1.1 停止スイッチとイグニッションシステムの機能

停止スイッチを押すと、イグニッションがオフになり、エンジンが停止します。停止スイッチを放すと、停止スイッチは自動的に運転位置に戻ります。エンジンが停止した後、イグニッションが再度オンになります。この状態では、エンジンの始動準備が整っています。

## 8.1.2 サムホイールの機能

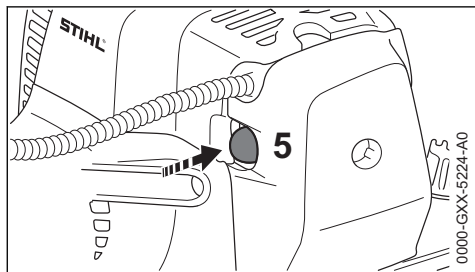


0208BA067 KN

サムホイール (4) を使用すると、スロットルトリガーの可動範囲をアイドリングとフルスロットル間の任意の位置に設定できます。

- サムホイール (4) を - の方向に回すと、スロットルトリガーの可動範囲と最大エンジン回転数が減少します。
- サムホイール (4) を + の方向に回すと、スロットルトリガーの可動範囲と最大エンジン回転数が増大します。
- スロットルトリガーを強く引くと、設定位置を越えた位置までスロットルを開くことができます - 設定位置は変更されません。スロットルトリガーを放すと、元の設定が復元されます。

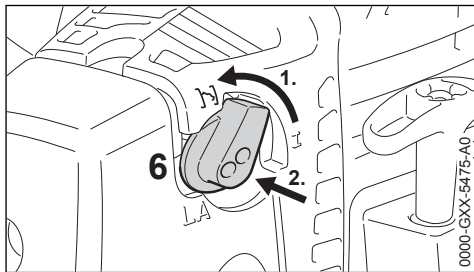
## 8.2 エンジンの始動



0000-GXX-5224-A0

- ▶ 手動燃料ポンプ (5) を最低 5 回押ししてください - ポンプにすでに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。
- ▶ 止まるまでサムホイールを + の方向に回します。

## 冷機エンジン (冷機スタート)



0000-GXX-5475-A0

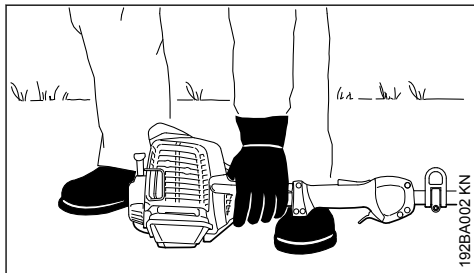
- ▶ チョークノブ (6) を回し、II の位置で押し込みます。

エンジン始動後、完全に暖機されていない場合もこの位置を使用します。

## 暖まっているエンジン (暖機スタート)

- ▶ チョークノブ (6) を I の位置にしておきます。

## 8.2.1 始動操作



192BA002 KN

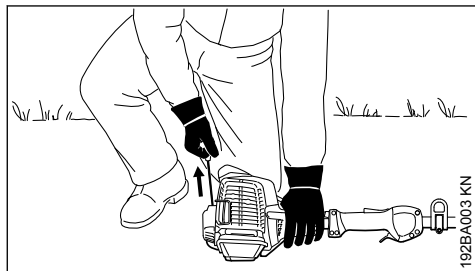
- ▶ パワーツールをマシンサポートに載せて地面に置きます：
- ▶ 装着されている場合：カッティングアタッチメントから運搬用ガードを取り外します。

**事故が生じる危険を低減するために、コンビツールが地面やその他の物体と接触していないことを確認してください - コンビツールの取扱説明書の「エンジンの始動 / 停止」も参照。**

- ▶ 立つか、かがむか、ひざまずいて安定した足場を確保します。
- ▶ 機械を左手で地面にしっかり固定して、押し付けます - スロットルトリガーやロックアウトレバー、停止スイッチに触れないようにしてください。

## 注記

シャフトの上にとったり、膝を付いたりしないでください。



192BA003 KN

- ▶ 右手でスターターグリップを握ります。
- ▶ スターターグリップをゆっくりと一定の力で引きます。

## 注記

スターターロープは最後まで引き出さないでください - 切れるおそれがあります。

- ▶ スターターグリップを急に放さないでください。手を添えてハウジング内にゆっくりと戻すと、スターターロープは適切に巻き込まれます。
- ▶ エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

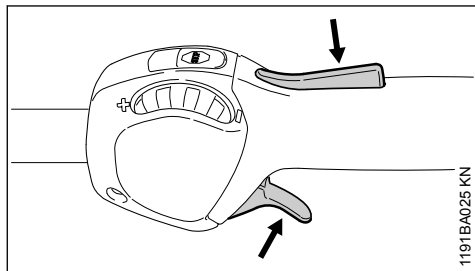
## 8.2.2 エンジンがかかったらすぐに

## 気温が +10°C 以下の場合

10 秒以上 **I** の位置でエンジンを暖機運転します。

## 気温が +10°C 以上の場合

5 秒以上 **I** の位置でエンジンを暖機運転します。



1191BA025 KN

- ▶ スロットルトリガーロックアウトを押し下げ、スロットルトリガーを引きます - チョークノブが運転位置 **I** に移動します。

冷機エンジンはさまざまな回転数で暖機運転します。



キャブレターが適正に調整されていることを確認します。エンジンのアイドル中は、コンピツールは回転してはいけません。

これで機械の使用準備が完了しました。

## 8.3 エンジンの停止

- ▶ 停止スイッチを押します - エンジンが停止します - 停止スイッチを放します - 運転位置に戻ります。

## 8.4 始動に関するその他の注意事項

エンジンが冷機スタート位置 **I** でストールする。

- ▶ スロットルトリガーロックアウトを押し下げ、スロットルトリガーを引きます - チョークノブが運転位置 **I** に移動します。
- ▶ エンジンがかかるまで、**I** 位置で始動操作を続けます。

作動中のエンジンが冷機スタート位置 **I** または加速時に停止する。

- ▶ エンジンがかかるまで、**I** 位置で始動操作を続けます。

## エンジンがかからない場合

- ▶ すべての設定が正しいか確認します。
- ▶ 燃料タンク内に燃料があるか確認し、必要に応じて給油します。
- ▶ スパークプラグターミナルが適正に接続されているか確認します。
- ▶ 始動手順を繰り返します。

## 燃料タンクが完全に空になった場合

- ▶ 再給油後、手動燃料ポンプにすでに燃料が充填されている場合でも、燃料ポンプを最低 5 回押ししてください。
- ▶ エンジン温度に合わせてチョークノブをセットします。
- ▶ エンジンを再始動します。

## 9 作業中の注意事項

## 9.1 ならし運転

新品の機械は、最初の燃料 3 タンク分の間は、高速回転(無負荷でフルスロットル)で運転しないでください。これですらし運転中の不要な高負荷を避けます。すべての動く部品は、ならし運転中になじんでくるので、この期間はエンジンの摩擦抵抗が大きくなっています。エンジンの最高出

力を発揮できるのは、タンク 5～15 回分の使用後となります。

## 9.2 作業中

長時間のフルスロットル運転後は、しばらくの間アイドリングしてエンジンの熱を冷却風で放熱してください。組み込まれている部品(イグニッションやキャブレター)を熱から守るためです。

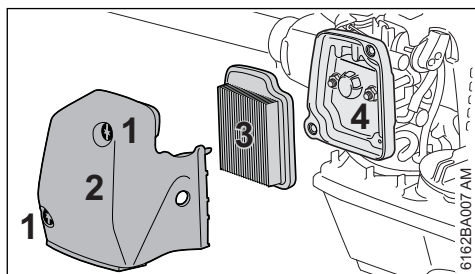
## 9.3 作業後

短期間使用しない場合：エンジンが冷えるまで待ちます。燃料タンクを空にして、次の使用時まで火気のない乾燥した状態で保管します。長期間に未使用の場合は、「機械の保管」を参照してください。

## 10 エアフィルターの交換

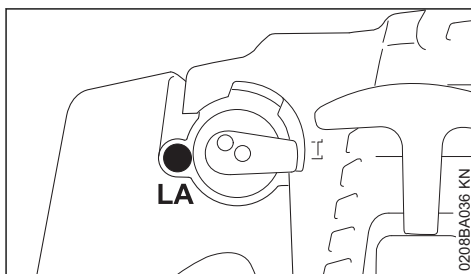
出力が顕著に低下しないかぎり、フィルターカバーを取り外したり、エアフィルターを交換したりしないでください。

### 10.1 エンジン出力が著しく低下した場合



- ▶ チョークノブを回し、I の位置に合わせます。
- ▶ スクリュー (1) を取り外します。
- ▶ フィルターカバー (2) を取り外します。
- ▶ フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。
- ▶ フィルターエレメント (3) を取り外します。
- ▶ 汚れているか、損傷しているフィルターは交換します。
- ▶ 損傷した部品は交換してください。
- ▶ 新しいエアフィルターをフィルターハウジング (4) に取り付けます。
- ▶ フィルターカバーを取り付けます。
- ▶ スクリューを取り付け、しっかりと締め付けます。

## 11 キャブレターの調整



機械のキャブレターは、あらゆる使用状況で性能と燃料効率が最適化されるよう工場で調整されています。

### 11.1 アイドリング回転数の設定

#### アイドリング回転中にエンジンが停止する場合

- ▶ エンジンが円滑に作動するようになるまでアイドリング回転数調整スクリュー (LA) を時計回りにゆっくりと回します - コンビツールは回転してはいけません。

#### アイドリング回転中にコンビツールが回転する場合

- ▶ コンビツールの回転が止まるまで、アイドリング回転数調整スクリュー (LA) をゆっくりと反時計回りに回します。

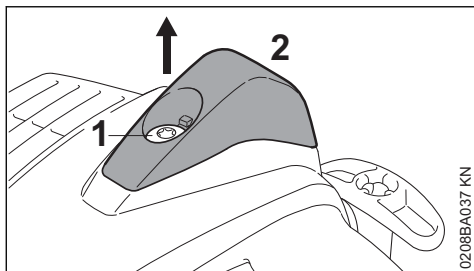
#### 警告

調整後もアイドリング回転時にコンビツールが回転し続ける場合は、サービス店にパワーツールの点検を依頼してください。

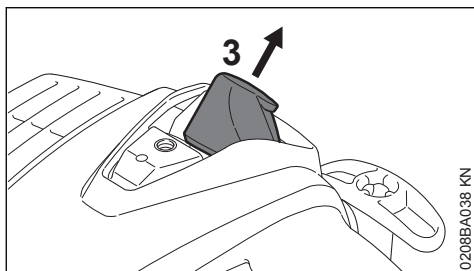
## 12 スパークプラグ

- ▶ エンジンの出力が低下したり、始動しにくくなったりアイドリングが不安定になったら、先ずスパークプラグを点検してください。
- ▶ 約 100 時間運転後には新品のスパークプラグと交換してください - 電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く交換してください。スチール社が承認した、雑音防止スパークプラグのみをご使用ください - 「技術仕様」の項を参照してください。

## 12.1 スパークプラグの取り外し

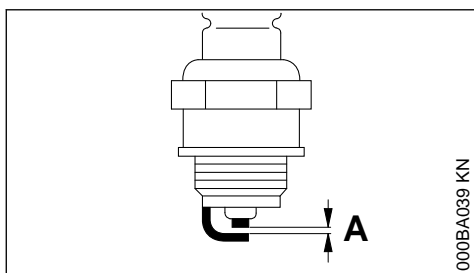


- ▶ 取り外しが可能な状態になるまでキャップ (2) のスクリー (1) を回します。
- ▶ キャップを下に置きます。



- ▶ スパークプラグターミナル (3) を抜き取ります。
- ▶ スパークプラグを取り外します。

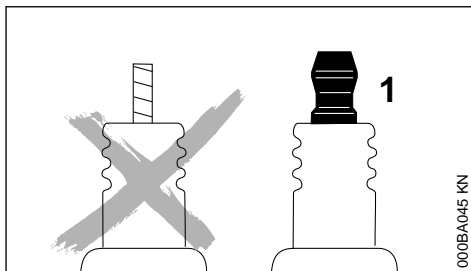
## 12.2 スパークプラグの点検



- ▶ 汚れたスパークプラグをきれいにします。
- ▶ 電極ギャップ(A)を点検して、必要な場合は調整します - 数値は「技術仕様」の項を参照してください。
- ▶ 以下のような、スパークプラグが汚れる原因を排除してください。

原因：

- エンジンオイル混合量の過多
- エアフィルターの汚れ
- 劣悪な使用環境



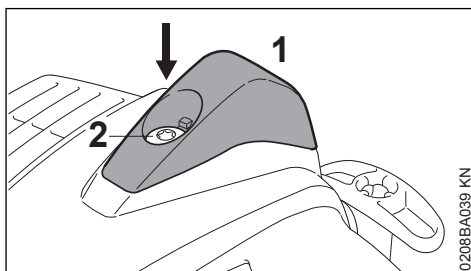
### 警告

アダプターナット (1) が緩んでいるか、外れている場合はアークが発生することがあります。発火または爆発が起きやすい環境下で作業を行うと、実際の火災または爆発が発生する恐れがあります。この場合、作業員が重傷を負ったり、建物に損傷を与えたりする可能性があります。

- ▶ 抵抗入タイプのスパークプラグを使用し、アダプターナットをしっかりと締め付けてください。

## 12.3 スパークプラグの取り付け

- ▶ スパークプラグを取り付け、しっかりと締め付けます。
- ▶ ターミナルをしっかりとスパークプラグに押し込みます。



- ▶ キャップ (1) を取り付け、スクリー (2) を差し込み、しっかりと締め付けます。

## 13 機械の保管

30 日以上保管時

- ▶ 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。
- ▶ 燃料は、地域の環境規制に従って処分してください。
- ▶ 手動燃料ポンプが装着されている場合は、手動燃料ポンプを 5 回以上押します。
- ▶ エンジンを始動し、停止するまでアイドリングさせます。
- ▶ 機械、特にエアフィルターを入念に掃除します。

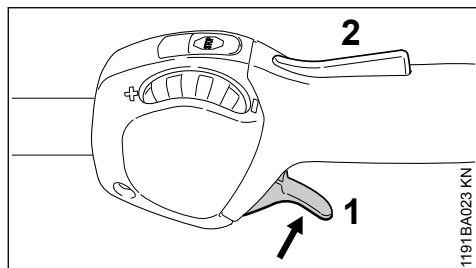
- ▶ アタッチメントを取り外し、清掃して点検します。金属部分に防錆オイルを塗布します。
- ▶ 機械を乾いた安全な場所に保管します。子供や他の無断使用者の手の届かない場所に保管してください。

## 14 ユーザーによる点検と保守

### 14.1 スロットルケーブル

#### 14.1.1 スロットルケーブルの調整の確認

エラー:エンジンの回転数は、スロットルトリガーが握られたときのみ増加します。



- ▶ エンジンの始動。
- ▶ スロットルトリガー (1) を押します - スロットルトリガー ロックアウト (2) を押さないでください。

エンジンの回転数が増加する、またはカッティングアタッチメントが回転する場合は、スロットルケーブルを調整する必要があります。

- ▶ エンジンを停止してください。
- ▶ スロットルケーブルは販売店で調整してください。STIHL では STIHL サービス店をお勧めします。

## 15 スチール販売店による点検と保守

### 15.1 整備作業

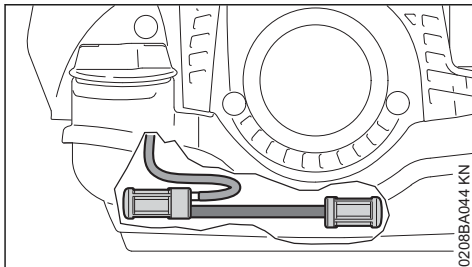
STIHL 社では整備や修理をすべて STIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。

## 16 整備表

次の間隔は通常の作業条件を対象にしています。毎日の作業時間が通常よりも長い、作業条件が悪い場合(粉塵が非常に多い場所等)は、それに応じて、表に示された間隔よりも短くしてください。

		作業開始前	毎日	燃料供給	毎週	毎月	毎年	故障時	損傷時	必要に応じて
機械本体	目視検査 (安全な状態、漏れ)	X		X						

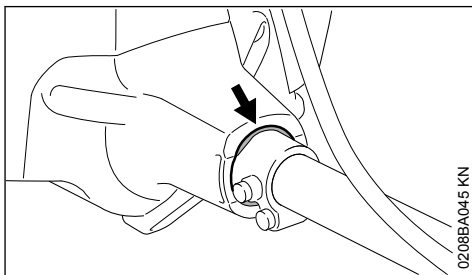
## 15.2 燃料タンク内のピックアップボディ



- ▶ 燃料タンク内のピックアップボディは毎年点検し、必要に応じて交換してください。

ピックアップボディは、タンク内の図示された部分に位置しています。

## 15.3 防振エレメント



振動吸収用ラバーエレメントは、パワーヘッドとシャフトの間に取り付けられています。摩擦が顕著になったか、常に振動が増すときは、本エレメントを点検してください。

次の間隔は通常の作業条件を対象にしています。毎日の作業時間が通常よりも長い、作業条件が悪い場合(粉塵が非常に多い場所等)は、それに応じて、表に示された間隔よりも短くしてください。		高 速 切 削 作 業	日 毎 は た た ま ま 作 業 終 了 後	毎 時 刻 毎 時 刻	毎 週	毎 月	毎 年	故 障 時	損 傷 時	必 要 に 応 じ て
	清掃		X							
	損傷部品の交換	X								
コントロールハンドル	機能テスト	X		X						
エアフィルター	目視検査					X		X		
	フィルターハウジングの掃除									X
	フェルトフィルターの交換 <sup>1)</sup>								X	X
燃料タンク	清掃				X		X		X	
手動燃料ポンプ(装備モデルのみ)	点検	X								
	専門サービス店に修理を依頼してください <sup>2)</sup>								X	
燃料タンク内のピックアップボディ	点検はサービス店に依頼してください <sup>2)</sup>							X		
	交換はサービス店に依頼してください <sup>2)</sup>					X			X	X
キャブレター	アイドルリング調整の点検 - 互換性のあるアタッチメントが作動しないこと	X		X						
	アイドルリング回転数の調整									X
スパークプラグ	電極ギャップの設定							X		
	100 運転時間ごとに交換									
冷却空気吸入部	目視検査		X							
	清掃									X
シリンダーフィン	清掃はサービス店に依頼してください <sup>2)</sup>					X				
すべての手の届くスクリュー、ナット、ボルト(調整スクリューを除く)	締め付け									X
防振エレメント	目視検査 <sup>3)</sup>	X						X		X
	交換はサービス店に依頼してください <sup>2)</sup>								X	
安全情報ラベル	交換							X		

1)エンジン出力が著しく低下した場合のみ 2)STIHL では、STIHL サービス店の利用をお勧めしています 3)「サービス店による点検と整備」の「防振エレメント」の章を参照してください

## 17 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の記述を遵守して使用すると、機械の過度の磨耗や損傷が回避されます。

本機の使用、整備並びに保管は、本取扱説明書の記述に従って入念に行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容及び警告事項に従わず

に使用したこと起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリーの使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

## 17.1 整備作業

「整備表」に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみ依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

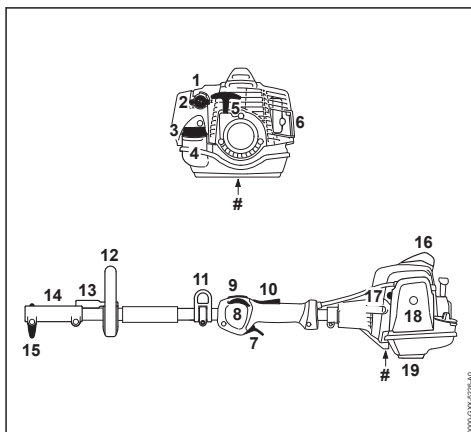
- 指定された時期に実施されなかった整備や不十分な整備(例：エアフィルター、燃料フィルター)、不適切なキャブレターの調整または不十分な冷却空気経路の掃除(エア吸入スリット、シリンダーフィン)が原因で生じたエンジンの損傷。
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる本機の損傷。

## 17.2 磨耗部品

カットオフソーの部品によっては、規定通りに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- クラッチ
- フィルター(エアフィルター、燃料フィルター)
- リワインドスターター
- スパークプラグ

## 18 主要構成部品



- 1 チョークノブ
  - 2 キャブレター調整スクリュー
  - 3 タンクキャップ
  - 4 燃料タンク
  - 5 スターターグリップ
  - 6 マフラー
  - 7 スロットルトリガー
  - 8 サムホイール
  - 9 停止スイッチ
  - 10 スロットルトリガーロックアウト
  - 11 吊り下げ用リング
  - 12 ループハンドル
  - 13 バリアバー
  - 14 カップリングスリーブ
  - 15 ウイングスクリュー
  - 16 キャップ付きスパークプラグターミナル
  - 17 手動燃料ポンプ
  - 18 エアフィルターカバー
  - 19 マシンサポート
- # 機械番号

## 19 技術仕様

### 19.1 エンジン

単気筒 2 ストロークエンジン

排気量：	24.1 cc
シリンダー径：	35 mm
ピストンストローク：	25 mm
ISO 8893 に準拠したエンジン出力：	0.9 kW (1.2 HP)、 8,500 rpm 時



アイドリング回転数： 2,800 rpm  
 回転数制御範囲 (定格)： 9,800 rpm

## 19.2 イグニッションシステム

エレクトロニクスマグネットイグニッション  
 スパークプラグ (抵抗入タ NGK CMR 6 H  
 イプ)：  
 電極ギャップ： 0.5 mm

## 19.3 燃料システム

燃料ポンプ付き全方向ロータリーバルブキャブ  
 レター

燃料タンク容量： 540 cc (0.54 l)

## 19.4 重量

燃料なし、コンビツールを除く  
 KM 94 RC-E： 4.0 kg

## 19.5 特徴

C 便利な機能  
 R ループハンドル  
 E エルゴスタート

## 19.6 音圧・騒音・振動数値

### 19.6.1 コンビツール付き

バージョンについては、「承認されたコンビツール」を参照してください。

振動に関する指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、[www.stihl.com/vib](http://www.stihl.com/vib) をご覧ください。

音圧・音響・振動数値には、以下の比率のアイドリングおよび最高定格回転が含まれます。

FCB-KM、FCS-KM、FH-KM、 1 対 1  
 FS-KM、FSB-KM、RG-KM および  
 HT-KM  
 HL-KM 1 対 4  
 BF-KM、BG-KM、KB-KM、KW-KM 1 対 6  
 および SP-KM

音圧・音響・振動の正確な仕様は、使用するコンビツールによって異なり、コンビツールの取扱説明書に記載されています。

### ISO 10517、ISO 11201、ISO 11789、ISO 22868 に準拠した音圧レベル $L_{peq}$

91 dB(A) ...95 dB(A)

### ISO 22868 に準拠した音響出力レベル $L_w$

104 dB(A) ...109 dB(A)

### ISO 10517、ISO 11201、EN ISO 11789 に準拠した音響出力レベル $L_{weq}$

104 dB(A) ...106 dB(A)

### ISO 22867 に準拠した振動加速度 $a_{hv,eq}$

#### 左ハンドル

2.9 m/s<sup>2</sup> ...8.2 m/s<sup>2</sup>

#### 右ハンドル

3.6 m/s<sup>2</sup> ...6.9 m/s<sup>2</sup>

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.0 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s<sup>2</sup> です。

## 19.7 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (CHemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No. 1907/2006 の遵守の詳細については [www.stihl.com/reach](http://www.stihl.com/reach) をご覧ください。

## 19.8 排気ガス

EU 型式認定手順に従って測定した CO<sub>2</sub> 値は、[www.stihl.com/co2](http://www.stihl.com/co2) に記載されています。

CO<sub>2</sub> 測定値は、代表的なエンジンを実験室で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによって満たされます。型式認定は、エンジンを改造すると無効になります。

## 20 整備と修理


本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店だけに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

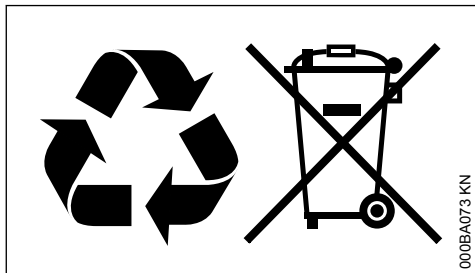
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボ

ル マーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

## 21 廃棄

国別の廃棄の規則および規制を順守してください。



スチール製品は、家庭用ごみ入れに廃棄しないでください。製品、アクセサリ、包装は、環境に配慮してリサイクルを行うため、認可された廃棄場に持ち込んでください。

廃棄物処理の最新情報については、スチール サービス店へお問い合わせください。

## 22 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Badstr. 115  
D-71336 Waiblingen  
Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

名称：	コンビエンジン
メーカー名：	STIHL
型式：	KM 94 RC-E
シリーズ番号：	4149
排気量	24.1cm <sup>3</sup>

指令 2011/65/EU、2006/42/EC および 2014/30/EU の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発/製造されたことを保証いたします -

EN ISO 12100、EN 55012、EN 61000-6-1 (以下のコンピツールと関連：BF-KM、BG-KM、FCB-KM、FCS-KM、FH-KM、FS-KM、FSB-KM、RG-KM、HL-KM、HT-KM、KB-KM、KW-KM and SP-KM)。

本書に記載したコンビエンジンは、STIHL 社がこのコンビエンジンに使用することを承認したコンピツールにだけ使用できます。

技術資料の保管場所：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Produktzulassung

製品の製造年と機械番号は、機械本体に表示されています。

15.07.2021、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Dr. Jürgen Hoffmann

Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)

CE

## 23 UKCA 適合宣言

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Badstr. 115  
D-71336 Waiblingen  
Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

名称：	コンビエンジン
メーカー名：	STIHL
型式：	KM 94 RC-E
シリーズ番号：	4149
排気量	24.1cm <sup>3</sup>

英国の規制 - 電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限規制 2012、機械類の供給 (安全性) 規制 2008、電磁互換性規制 2016 - の関連条項に準拠し、製造日に有効であった以下の基準の版に従って開発/製造されました。

EN ISO 12100、EN 55012、EN 61000-6-1 (以下のコンピツールと関連：BF-KM、BG-KM、FCB-KM、FCS-KM、FH-KM、FS-KM、FSB-KM、RG-KM、HL-KM、HT-KM、KB-KM、KW-KM and SP-KM)。

本書に記載したコンビエンジンは、STIHL 社がこのコンビエンジンに使用することを承認したコンピツールにだけ使用できます。

技術資料の保管場所：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

製造年と機械番号は、製品本体に表示されています。

2021 年 7 月 15 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Dr. Jürgen Hoffmann

Director Product Certification & Regulatory  
Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)



[www.stihl.com](http://www.stihl.com)



0458-467-4321-C



0458-467-4321-C